

ImPACT の進捗管理について

平成 28 年 9 月 29 日
革新的研究開発推進プログラム担当室

(ポイント)

全 16 名の PM を対象として、有識者会議による平成 29 年度以降の予算総額を含む研究開発プログラムの見直し検討に向け、各プログラムの進捗及び見直しの必要性に係るヒアリングを集中レビュー会において実施する。

1. 趣旨

- ・ ImPACT では、有識者会議が PM から概ね半年毎に進捗状況の報告を受け、必要に応じ大局的な観点からの改善を求めることができる、としている。
- ・ 有識者会議における進捗管理に資する場としてレビュー会を定期的を開催し、有識者議員による進捗確認及び PM への助言を行っているところ。また、外部有識者（参考 1：『ImPACT アドバイザー』）も出席し、PM のマネジメントや出口戦略等の観点から、有識者議員の判断の参考となるコメント・アドバイスをを行っているところ。
- ・ 昨年度同様、平成 29 年度以降の予算総額を含む研究開発プログラムの見直し検討に向け、平成 28 年 10 月から 11 月にかけて集中的にレビュー会を開催し、全 16 名の PM に対するヒアリングにより、研究開発プログラムの進捗及びプログラムの見直し内容を確認する。
- ・ 研究費総額の変更を含む研究開発プログラムの見直し内容については、有識者会議で検討を行った後、推進会議で承認を得る。

2. 集中レビュー会の実施内容

- ・ 各 PM は、自らの研究開発プログラムの全体計画に基づき、プログラムの実施状況及び自己評価を報告する。
- ・ PM は、プログラムの見直し及び予算総額の変更を希望する場合は、その必要性についても説明する。
- ・ これまでのレビュー会と同様に、外部有識者（『ImPACT アドバイザー』）も出席する。

(スケジュール) 10 月 25 日、10 月 31 日、11 月 1 日、11 月 18 日

3. 集中レビュー会後の対応

- ・レビュー会でのヒアリング及び ImPACT アドバイザーの意見を踏まえ、必要に応じ PM に対する再ヒアリング等を行い、研究開発プログラムの見直しの必要性の有無等を検討する。
- ・研究費総額の変更を含む研究開発プログラムの見直し内容については、有識者会議に諮り、検討を行う。
- ・有識者会議で検討した後の研究開発プログラムの見直し案については、推進会議で承認を得る。

(スケジュール)

再ヒアリング : 11 月 25 日、12 月 12 日 (必要に応じ実施)

有識者会議 : 平成 29 年 1 月 19 日 (予定)

推進会議 : 平成 29 年 1 月 26 日 (予定)

(了)